

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

政策評価シート

政策番号	2
------	---

政策推進の基本方向	政策名称 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	政策担当 部局	経済商工観光部
富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進		評価担当 課室	富県宮城推進室

政策目標
 時代の変化に対応し、新しい価値を創出できる産業人材の育成や事業承継、企業の経営支援に取り組みます。また、空港や港湾、道路や農地などの産業基盤の機能強化や東北各県との広域連携の推進など、県内産業の持続的な発展を担うヒト・モノの育成、活躍を促進します。

政策に対する県民意識調査の結果

県民意識	重視度	令和3年度	80.7% 6位/8政策	令和4年度	83.6% 6位/8政策	令和5年度		令和6年度	
	満足度	令和3年度	43.7% 3位/8政策	令和4年度	33.3% 7位/8政策	令和5年度		令和6年度	
	本政策において優先すべきと思うテーマ		R3		R4		R5		R6
		割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
	①県内への就職・就業の促進と産業人材の育成	69.0%	1位	65.1%	1位				
	②誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備	59.3%	2位	54.8%	2位				
	③学び直しやリカレント教育の振興	16.0%	7位	26.0%	4位				
	④創業や経営力強化の支援	20.6%	6位	17.4%	6位				
	⑤生産・物流・交流基盤の機能強化	59.2%	3位	33.0%	3位				
	⑥産業基盤の有効活用	29.2%	4位	15.0%	7位				
	⑦東北のゲートウェイ機能の強化	22.5%	5位	24.6%	5位				

政策を構成する施策の成果及び評価(原案)

番号	施策の名称と成果の検証	施策評価の原案
4	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	やや遅れている
	工場見学会等の事業により、高校生の県内製造業就職率は順調に推移している。また、みやぎ人財活躍応援センターにおいてニーズに応じた就職支援を行っているほか、年次有給休暇の取得率が上昇し、柔軟に働き続けられる環境の整備が進んでいることから、県民が重視する取組が推進されている。しかし、全体的に達成率が落ち込んでいることから、総合的に本施策を「やや遅れている」と評価した。	
5	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	概ね順調
	項目①を「概ね順調」、項目②を「やや遅れている」と評価したが、県民が重視する「生産・物流・交流基盤の機能強化」の分野において、農業のDX化に向けた基盤整備が進んだほか、仙台空港乗降客数が前年度比で169%、東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数が前年度比で約124%と回復傾向にあること、国際線定期便が再開したこと等を鑑みて、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	

政策課題と対応方針	
政策課題	課題解決に向けた対応方針
2-1 先進的技術を活用した地域経済の発展と社会課題の解決	2-1 ・優れた技術や製品を有する県内中小企業を、地域の中核となる企業へ育成するための支援 ・生産現場等を支える人材やデジタル化の進展等に対応できる人材育成の推進 ・女性や高齢者を含む様々な人材が柔軟で多様な働き方を選択できる社会の実現に向け、関係機関と連携した県内企業の働き方改革の推進
2-2 宮城の産業を牽引する人材の創出・育成と環境の整備	2-2 ・ものづくり産業の人材育成・確保に向けた採用力向上のためのセミナー、工場見学会の開催に加え、県内の小中高生向け動画の発行・活用等の取組の推進 ・船舶の大型化やコンテナ貨物量増加に対応するため、高砂コンテナターミナル拡張工事を推進するとともに、ポートセールスによる仙台塩釜港の利用を促進 ・デジタルマーケティングにより旅行者のニーズの変化を的確に把握し、戦略的なプロモーションを行うことにより、国内外からの誘客を図り、仙台空港の利用を促進

政策目標に対する成果の検証	<p>本政策では、産業人材の育成や働く環境の整備について、学生向け工場見学会や熟練技能者の現場指導等を実施し、ものづくり人材の育成や県内企業の認知度向上につなげた。また、「みやぎ人財活躍応援センター」においてニーズに応じた就職支援を行ったほか、デジタル化等による働き方改革の促進により、県内企業の魅力ある職場の環境整備が図られたが、労働力の需給ミスマッチ等により、県内の就業率や第一次産業における新規就業者数が落ち込むなど、やや遅れが見られる。</p> <p>産業基盤の整備活用については、空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤の機能強化について、一定の進捗が見られたほか、仙台空港の乗降客数について、新型コロナウイルス感染症の影響で目標値を下回ったものの、前年度比では回復傾向にあるなど、全体としては概ね順調に進んでいる。</p> <p>以上のとおり、産業人材の育成と活躍できる環境整備において、県内への就職・就業の促進と産業人材の育成に関する取組にやや遅れが見られるものの、デジタル化等による柔軟に働き続けるための環境整備は着実に進んでいるほか、産業基盤の活用については概ね順調に進んでいることから、政策全体では「概ね順調」と評価する。</p>
	<p>成果の検証を踏まえた評価原案</p>